

2024年

1月号

No.502

日本赤十字社 富山赤十字病院広報誌

# やすらぎ

TAKE FREE  
ご自由にお持ち帰りください

## I N D E X

- 途上国の医療支援
- 1月・2月健康教室等のお知らせ



### 『途上国の医療支援』

脳血管センター長

桑山 直也

くわやま なおや



皆さん、明けましておめでとうございます。コロナ縛りのない初詣ではいかがでしたか。今年もCOVID-19の長いながいトンネルを抜け、やっとで同僚や友といつも通り楽しく語ることができる環境になりました。当たり前ができなくなったとき、はじめてその大切さに気付く、コロナは辛さばかりが思い出されますが、反面、人との交流の大切さに気付かせてくれた禍(わざわい)でもありました。マスクをはずして外を歩く清々しさも久しぶりですね。

さて、今日は私が携わっている途上国の医療支援についてお話をさせていただきます。私たちの住む日本は医療資源(人、技術、道具、薬)に大変、恵まれた国です。難病のドラッグラグなどというニュースはあったとしても、普通の人々が、普通に国際水準の医療を、それも格安で受けることができます。これまで日本という国を形作ってきた多くの優れた先達のおかげで、このような素晴らしい環境ができ上がっているわけです。

では海外はどうでしょうか。実は多くの発展途上国には日本のような豊富な医療資源や国民皆保険などというものはなく、そのような国でいざ怪我をしたり病気になったりした時には沢山の人がとても辛い思いをしているのが現状です。これには国の資金力や国民の経済力が大きく関与しているのは当然ですが、途上国ではそれから衛生状況、健康意識、健康保険、医学教育、輸入規制といったさまざまな要因が複雑にからんで医療環境の発達・改善を困難なものにしています。

私は2008年に始めてエジプトの大学病院で2人の患者さんに脳血管内治療を行いました。エジプトから富山大学脳外科に留学して帰国した3人の脳外科医に招待され、訪問治療をしたというわけです。最新鋭だという血管撮影装置は日本から輸入した東芝の中古品でした。血管内治療に使用したデバイス(器具)は殆どがパリから持ち込まれたものでした。カイロの脳外科医たちのためのデモンストレーションということで、治療費は病院が負担していました。途上国の貧しい医療事情を初めて知る機会となりました。この経験が海外支援活動のきっかけとなりました。



ダッカ(アフガニスタン)にて脳動脈瘤のライブ治療  
白術医の中央が術者(筆者)

## 「チーム桑山」とは

私は2009年に全国から有能な中堅5人をつのって、アジア脳神経外科学会(国際教育委員会)の中に「チーム桑山」を結成、東南アジア、東ヨーロッパ、北アフリカを中心に脳血管内治療のハンズオンセミナーとライブ治療を実施するという支援活動を始めました。往復の交通費は我々の自己負担、訪問先での滞在費は現地学会持ちという約束です。多いときは年に8回、デバイスを詰め込んだ大きなキャリーケースを皆で何個も抱えて行きました。1回の訪問は4～5日、発展途上国ですから飛行機の乗換えが多く、現地滞在は正味2～3日というタイトなスケジュールです。ふところのお金は出ていく一方、現地ではまず観光などできません。しかも富山大学では「桑山はいったいどこにいるんだ」というお叱りもあるとかないとか、、、しかしこの15年間、お金で買えないやりがいと喜びが深く心に残り、海外の友人がたくさんできました。

これまで中国、台湾、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、マレーシア、タイ、インドネシア、ネパール、バングラデシュ、パキスタン、カザフスタン、ウズベキスタン、ロシア(シベリア)、ハンガリー、北マケドニア、モロッコ、エジプト、UAE(ドバイ)、はじめて自分で数えてみましたが、19カ国(のべ50回以上)を訪問してまいりました。コロナ禍の初期に富山赤十字病院に赴任しましたので、始めの2年はおとなしくしておりましたが、2023年はバングラデッシュ(2回目)、ウズベキスタン(同じく)を訪問し、ハンズオンと脳動脈瘤のライブ治療をして来ました。



カラチ(パキスタン)にて女性医学生にカテーテルシミュレーターのハンズオン

途上国の若い医師たちはいつも目がキラキラと輝いています。触ったことのないデバイスですから、皆が我先にハンズオンの列に並びます。ハンズオンが終わると、明日もやってくれと言って帰ろうとしません。真剣に知識と技術を学びたいという熱意が目、耳、口から出てきます。つくづく日本の若い医師達は幸せだなと感じる瞬間です。



タシケント(ウズベキスタン)にて、チーム桑山の記念撮影  
筆者(右から2番目)と日本人脳神経外科医4人、インドネシア脳神経外科(右端)、現地の女性脳神経外科医(左端)



ノボシブルスク(ロシア、シベリア)にて脳動脈瘤シミュレーターを使ったカテーテルハンズオン

パキスタンのカラチに着いたときのことでした。空港上空からは百台近くの戦車が見えました。入国して空港から出てくると、窓のカーテンで中を隠したおんぼろバスに乗せられ、ホテルに向かいました。ホテルの入り口で銃を構えた兵士を横目で見ながら、金属探知器をくぐって中に入ります。その後はホテルと会場の往復のみで外にも出られず、満員の会場でハンズオンだけやり終え、無事帰国しました。外務省の危険情報地図では黄色より危険な「からし色」に塗られた国です。現地が私たちの安全を最優先してくれた結果でした。

ミャンマーのヤンゴンに行ったときのことで。訪れた国立病院では講堂のような広大な部屋にベッドがびっしりと並べられ、その上で百人あまりの患者さんと家族が入院生活や付添い生活をしておりました。脳外科では外傷の手術しかできず、脳卒中の患者さんには大変厳しい事情がありました。動脈瘤のライブ治療を終えたその日の夜、めずらしく私たちは黄金の光をはなつ仏塔を見学する機会に恵まれました。東南アジアでも数少ない仏教国、あの美しい仏塔は今でも脳裡に焼き付いています。残念なことに今では軍が台頭し、もはや訪れることができない国になってしまいました。

バングラデシュの首都、ダッカの病院には患者さんがあふれ、廊下や階段までが、点滴をぶら下げた病人で隙間なく埋められていました。2人の患者さんに最先端のパイプライン治療をライブで実施しましたが、終了後は大勢の見学医師から機関銃のように質問を頂き、そちらの方が大変だったという記憶があります。ダッカは世界で最も人口密度の高い街です。病院から一歩外に出ると通りは若者たちで埋め尽くされており、将来の発展を予想させる、実に活気にあふれた国でした。

ネパールはカトマンズの話です。国立病院にはやはり患者さんがあふれ、医師達が自前で買ってきた「なけな

しの治療デバイス」を使って血管内治療を恐る恐る試行していました。新しい治療を患者さんに施したいという熱意あふれる光景でした。一方、驚くことに富裕層のために建てられた民間病院というのがあり、近代的なビルには日本と同じような診断・治療機器がずらり並んでいました。ところが脳外科の病室にはほとんど患者さんがいません。治療できる医師がいない(日本からたまに来るのみ)、富裕層はインドや中東に行って治療を受ける、など一筋縄ではいかない途上国の事情があるようです。

ここまでの話はほんの一例です。危ない思いをしたことは数知れず、けれどいつも復路の機内ではチーム桑山の全員が「次はもっと頑張ろう」という気持ちでいっぱいになります。インドネシアではこれまでの活動が実り、私たちの受講者が首都のジャカルタやスマトラ島の最大都市メダンの大病院で血管内治療科を立ち上げ、順調に治療結果が延びていると聞きました。その中の一人は数年前からチーム桑山の一員となって私たちの支援活動を支えてくれています。多くの途上国がさまざまな問題を抱えながらも、一步一步前に進んでいます。私たちの活動は大海に落ちる一滴のしずくかもしれないですが、これからもできるだけの支援をしたいと願っています。



ヤンゴン(ミャンマー)の国立総合病院、大部屋の風景  
患者と家族がベッドを囲んで生活している

1月・2月健康教室等のお知らせ 患者さん、ご家族の方、お気軽にご利用ください。【お問い合わせ】電話(076)433-2222 医療社会事業課(内線 2322)						
名称	内容	実施日 祝祭日除く	時間	場所	担当	申込窓口
やすらぎの会	ミニレクチャー がんにもつかわるお薬について知ろう ～薬剤編～ (講師:薬剤師)	1月開催なし	14:00～14:30	3階 講義室	がん相談スタッフ	申込不要
		2月21日(水)	交流会:14:30～15:00			
ライラックの会	血液内科疾患 患者・家族・医療スタッフの会	当面の間中止				
クロスサロンとやま	ピアサポーターによるサロン	1月17日(水)	13:30～15:30	3階 講義室	がん相談スタッフ	申込不要
がん相談支援センターでは、がんに関する相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。						
糖尿病指導コース (要申込)	運動の話と実技(実技は主治医の許可を受けてください)	1月9日(火)・23日(火) 2月13日(火)・27日(火)	14:00～16:00	3階 討議室	理学療法士 検査技師 管理栄養士  医師 薬剤師 看護師	外来通院の方は 内科外来 入院中の方は 病棟看護師
	検査の話 食事の話					
腎臓病教室 (要申込)	病気の話 食事の話 生活の注意点	1月10日(水)・24日(水) 2月14日(水)・28日(水)	14:00～15:00	3階 討議室	医師 管理栄養士 看護師	主治医
	生活の注意点	当面の間中止				
禁煙教室	ミニレクチャー	1月19日(金) 2月16日(金)	15:00～15:30	健診センター	看護師 医師	申込不要
	禁煙外来ってどんな治療をするの?パート2 ～禁煙は病院を頼っていいんです～ 第六回 タバコは全身病 ～禁煙・卒煙:なんでも相談会～					
安産教室 (要申込)	1コース 妊娠されたママへ～自分の身体と赤ちゃんをイメージしよう～	1月5日(金) 2月2日(金)	13:00～14:00	正面玄関 多目的室 1月26日(金) zoom開催	助産師 管理栄養士 歯科衛生士	産婦人科 外来
	2コース 自分の食生活と向き合ってみよう妊娠中の身体と生活		14:30～15:30			
赤ちゃんのここにご飯 (要申込)	3コース 赤ちゃんと学ぼう!お産	1月12日(金)・19日(金) 26日(金) 2月9日(金)・16日(金)	13:00～14:00	正面玄関 多目的室	管理栄養士	栄養課
	4コース みんなで学ぼう!母乳育児!					
のびのびサークル	食育教室	1月11日(木) 2月8日(木)	10:00～11:00	正面玄関 多目的室・ zoom開催	自助サークル	病院ホーム ページ
	病院ホームページの『診療科・部門のご案内』>『栄養管理』栄養指導の提供、チーム医療への参加』をご覧ください。					
赤十字 救急法基礎講習 救急員養成講習 (要申込)	母乳育児期間中の母子のつどい	1月24日(水) 2月28日(水)	10:00～11:30 (zoomへの入室は 9:40～)	日本赤十字社 富山県支部	救急法 講習指導員	日本赤十字社 富山県支部 451-7878
	病院ホームページの『ご利用の皆さまへ』>『お産される方へ』>『【退院後】のびのびサークル』をご覧ください。					
	一次救命処置(心肺蘇生・AED) / 搬送および救護 / 急病の手当/けがの手当(止血法・包帯法・固定法)	基礎講習: 1月6日(土)・2月19日(月) 養成講習: 2月21日(水)・22日(木)	9:00～16:30			